東京電話】區時軍事数二十個二一一、特第一號(昭和十二年度各特

宋議院**豫算總會**[六日]

るかは如何なる財題に立つものであま常時立法及び今回の追加像は即のであるが、また海岸封頸車に

が海軍による文那船舶の航行運搬」要品たるガソリンは國外よりの供 【南京市日同間】事題の永敬と我|軍及び軍需品輸送用として最も重

ガソリン使用制限

全支を窓撼する皇軍の武威

職んで居るで 大関りだ、脚

淋疾は感染直後の完全

南京政府から發令

1部戦線に空爆を敢行してゐる「東部戦線の敵軍大部隊に對して猛烈だる總攻撃の火蓋を切つた、同時に海軍航空隊は「東部戦線の敵軍大部隊に對して猛烈だる總攻撃の火蓋を切つた、同時に海軍航空隊は不上海租【上海 六日 發本 社特 電 】 今曉午前六時、わが軍は海、空、陸相呼應して上海租 、激戦展開

> 相俟つて捕蟻敵の抵抗を無像しつつ年前十一時は敗也クリークの総 【→攻撃開始、確無衛馬車應及び軍事家部隊の響き大學附近の攻撃を準備ニ今拂曉六時よりいよ

> > 可以我立場地

石井部隊敵前上陸

なく爆撃及び機銃の掃射を敢行中である

報道班發表

[上一學六日發本症特定] 第〇體院製道

上電艇の機能破験の支援下に落軍部隊と協力、低工路北方々面の敵

一間しば烈なる攻撃を開始せり

海五日發本社特

ス酸を対しまりた日正年には陳家宅附近の敵を撃破し途に賢山城に日竜族を飜へせり、これに他火力の最高度を發揚し攻撃開始、異くCOMがより趣田と来れて覆蓋敵のを原義に翻除る神場ともは極火力の最高度を發揚し攻撃開始、異くCOMがより動田と来れて覆蓋敵のを原義に翻除る平所近のな際が強重に振呼、継載をに入るや鱗に「思の巡測などあり、五日朝同部隊は氏山城南側陳家宅附近の戦をを終て四時クリークを進れる置蓋都に四日午後四時〇〇部賦と派器な延崎を取り度を宅、四京献府近の郷に費し攻撃をを終て四時クリークを進れる置蓋都に四日午後四時〇〇部賦と派器な延崎を取り度を宅、四京献府近の郷に費し攻撃を 金田部隊の榮譽

上海六日同盟)虹江盛頭附近の敵郎地は我が醍醐により火災を起

力を得て更に微繋を開始したので流石の敵も崩れ始め、多数の死體を遺棄して散と西方に流走し始め、この最を聞いた城内の敵部隊たので敗兵部隊は耐氏隊の協力を得てこの城外の敵を四日正午より前後三回に亘り攻撃、五日朝天介部隊の西方撤出により周部隊の 正決した、しかるに蘇土力は国域西南一キロの曹家派、陳家宅方面に敦線に亘る帰朝な陣地を極楽し我軍に反韓の態度を示すに主

頭高く日葦旗を翻した、陳袞等の謝難により現方にも凋舊の死傷害あるが城内の敵がおとなしく退職したので城内の非龍酥酸には戦き一龍を交へることなく城内より退用したので鏖烈部隊の金田部隊は何等の抵抗も歩くしことなく五日正半宮山城内に覧々入城、

E型上版により無敵皇軍の顧削上 | 京したが小原「東京電話 | 上海事懸勢觀と共に | 日午前七時十 市街戦の權威小尾少佐歸任談

分東京昭五列山で路

されてゐる。地口一國の際,至正は廣音、展本華と」び機關銃の掃射をなし敵に大打撃を與へ委を駐山襲逐連は召頭記量がしつ、旋回數次の後

有利に展開

Carvette Fit つか これの行政的に何寒が適常なる へるか おりとは何を指すのか これの行政的に何寒が適常なも へるか これの行政的に何寒が適常なる へるか これの行政的に何寒が適常なる へるか

派に平定して

措置をとる必要があるのではな 廣田外相

拘田氏 アメリカ圏内の労働 支那開網以来のお鈴、今度とい 支那開網以来のお鈴、今度とい よ今度は悪い知らしぬなく。 ※

子供たも縁ぶまいことか、日子供たも縁ぶまいことか、日

か

第一回新鮮中央防空委員會は六日一會經令後における韓事會の活動、 根がふつて勝事に入りを政管開催までの經過に就いて報

果らしくて何も高へず 取日本内地に進驟原始』と。 阿 デマリもデマソたり、『支那 Ł

元变变

大木合名 金計 社

上り双眼鏡を以て監視すれば極の全家宅方面の激戦に際しわが斬緩。全家宅方面の激戦に際しわが斬緩。 総へ帰俗補充のため新に項接所置。最新附近の北新径方面より開北職 同志治する有様が五六百米しか雌 間して質疑をなし大衆越利増進の により大街場を被つた路渠部隊は「上海五日間盟」五日朝わが登襲 督職隊ご交職 機様で死患者を いフランス研究 ・これこの死 と信ぎられたと数に断の抵抗 と格能など交職となる。 に多まが出 わて前線より が列をなーて 観測されたな 法療治と 發再 のを選ばねばなられ。 而して療法は最適のも治療が最も肝要である

○総総理道理を目できてき二十二十二十二十三日設なり「上海五日發本社特電】」手に上る見込なり、「大海五日發本社特電」」手に上る見込なり、「大海五日の一大海五日の一大海五日の一大海五日の一大海五日の一大海

所述季而の髪り目になると、供席に支えるのである。 は有数し基礎を表現では表現である。 就中、研究の中では大大部語。 に変える。この大力等である。 就中、研究の加く表現力、繁殖力の 向が話だしい。 報覧、後年等の自程 経状が消失したのを見めの音油と緩 を対象でを要する事に治りませ、対象 である。 にも利して一般に此っ である。 にも利して一般に此っ である。 にも利して一般に此っ ◎種後粒子銀幣パロール □淋疾の再發

京都帝國大學

を表明

建設のために

いつても支那

申込みあれ、但し一名一册に限る。を御命望の方は、新聞名を明記の上御四六判、七十條頁、詳細関解入り册子四六判、七十條頁、詳細関解入り册子 無代進星

(製法特許)

化學研究所創製

が一方我が出漁船の平捕事件

長) 粛洲より

本係パロールは京都帝大統長地場、本係パロールは京都帝大統長地場、 明平海洋に小田田の河東・上の馬力 研究により深成されたの。東州移在 活歌舞才ルガソノル景語を連用して、 活歌舞才ルガソフル景語を連用して、 活歌舞才の変勢至三百種神の毛殊意理 に表現した活生のにがである中華への展内型化 の的となつであるコロイド化型の機 の的となつであるコロイド化型の機 の的となつであるコロイド化型の機 の的となつであるコロイド化型の機 の的となつであるコロイド化型の機 の的となつであるコロイドで型る探測に ではず用を経々者大ならしめ、而も コロイド用を経々者大ならしめ、而も コロイド用を経々者大ならしめ、而も コロイドの類別な関係。消失、防臓、 コロイドの類別な関係。消失、防臓、 コロイドの類別な関係。 コロイドの対象が、 は高めるを以て東に到途依は迅速且 つ正確に成力を長無する。

□バロールの作用と効力

蘇機の領空侵犯

雄基方面に前後四

山口

(野山の金苳名にあらず)南土英宅のトーチカに譲る廊に對して張るや間髪を入れすクリークを突破し六日午前大時墓に前面の金家宅 北方クリーク阻塞にある浦常部隊の高順線陣地に換結、磯崩撃機関星明りの中を麟々と枇杷東部戦線に向つて行動を開始、旭汀大忠治

は絵々と猛進學を開始、その緊急機をとして初めの射學の下に勇敢無比の我が陸軍並に陸戰隊員りの砲學、空軍の爆撃及び陸軍○砲隊の掩護りの砲學、空軍の爆撃を開発、江上に碇泊中の艦艇よーて1度に吸りを攻撃を開発、江上に碇泊中の艦艇よ

西部戦線「上海六月同盟」東部戦線における壁道を

軍央北部隊と緊急な連門をとり携職攻撃を開始した、これよりと

〇陣地は一番に射撃を開始し東部戦線は拂嘴流戦年前四時半端より開方面の江上に得機してみた軍

2部土上写賞現代別事件相綴き時「心製を開闢し四延を終り午後零時」基準電話) 保近蘇崎軍用機の我 - 間して西疑をカし大変高声達到の

HILLER 人 HILLER 日金剛山より入城同夜々のぞ 多光太郎氏(東北帝大説長) パテルへ | 六日飛

てみる歴光道館施設文明競技は廿一らに〇〇の〇〇都職長を訴聞、そ 後機感既論領副管理として活躍し、草村に明新鈴木部除長を訪問。さてOOV展升特派は起)朝鮮軍事、七日天徽智、廿八日第一〇〇の柴

戰線氣分を滿喫 間の文明琦氏

亦誠を披織せんも

ひとぶら15日頃に「脚するため大百斛「鎌梁で優越人動を火薬を頂職せんも」はこれらの担題を「一時か」現に難願い、丸となり就変の「翻したが、風動で」し、來ら九日午後

暦民都で腓局語語と映画でに開く

標献的期成館を

の組る言のし朝代を選

間の部代 して類似し要望す

〇〇部隊長等を訪問

意敵の夜襲に備ふ

原は、一世知事から時間に関する訓

神宮に参拝し愛国の真心こめて神前に譲つく着くの人々の敬 初秋の頃に繊維と目の起族の縁の日、六日訓まだきから朝鮮

現校の先生で組織する京、道教育館を代約二千名が神宮大師

同战日指折断祭を執行

が代音響に次いで國民精神に 各學校では全校生が校院に単

から西、東の港道からと聞き接して観き、正平までには郷敦

かくはつて居られないから、いく「三陣と歓明告ける北支、駐産品をで北支か」「この旅館隊のことに、「同の関係組軍を収行、第二陣・

を初めとし一般及び軍人各塁生生徒の参拝者が大石版し甘蔗府非玉串を察奠して威嚇な夏國所願祭を勤り行

萬六千名により尚難廢として用次ぎ夕刻までには五萬名を

上に京城府内の各公林立中初等原

この日の神宮参拝者

夕刻ま、には約五萬

い得楽前く間を被つて題と吹

3年のて六日の豊岡日に高射機びにそれん /お小遣ひの河野前

|劉殊潔潔の点在によっと | 支票総関形の産々しい前川の観賞 行り題に引つよさ大作内が最長紙上立文の観点線では流利化し、優雄一秒能断ではOK・配定を強つて北 | 館職に於ける前 "と同様に側 示を

せると二十八級の多數に上り家庭 舞を削踏階段に加へられた、園舎健院に抑留されてゐる十九六を台 四八十銭を離取逃走せんとする取

吉政林・監獄僧僧の異共員上上次の「魏ひ保証並を目で資程の於の子二書政林・霊殿邦、洋成忠・歴史ル・程二とに職を任語するからと项に乗り越、幸殿邦、洋成忠・歴史ル・団をもろつく長沙町二一十次金徳 エーモン・
五日午後京城水下町明館貿票館域

を開始、全鮮の個工芸者に『戦性 裁により既村振典運動旅院帰化の

北支からの大量物資注文に

早く→商船隊活躍

献章して高界複願戦)響を献納す。にこの日至中島。千三百萬閒駛の季塵技術験性脈に生命星童が節節。一所に改起した第二の時段を中心大を前頭した。一方原は著四中初、発鮮寺東校でも同談寺百事を行ったが、乗して國麗の建樹と現址の武瀬長、選心をこので時間姿を作ったが、乗して國麗の建樹と現址の武瀬長、選心をこので時間姿を作ったが、

厨内中等保存生化粧二萬人が登った各別校では保証様に役クラスの中町中に朝鮮神宮に参理、午後、愛園都を訪ね早糖さをとつた、ま

月滅者を辟して以来、影多の公職に帰村に住む浪器直氏は昭和四年六

最近だけて二十八隻

の観犯人であることを自供、目で

職の思想根製併できるを五日午

子二年九川四日初失致上候に消ぎ本證券の無、旧義民

米

所

愩

除難實校學山戶實歷 • 曲 作

揮指長樂-國田岡

隊樂軍校學山戶軍陸

七七點び通丸

本。詞作

平町署で連加した職慄の帰途

第一岩野丸、第二吉野丸、船洋丸とを受けてゐる、存郷されたものは

京城建制町コノニコ城戦時

【その一】 群議を北世三

蘇聯の漁船拿捕 矢繼ぎ早の暴狀

鈗後の赤誠高揚の

切々たる赤波の第つた手紙を三橋とりともお園のために働きたいと

良もやらず

京畿道で期成會組織

七日·八日 府民館で

騰本府映画班作品『納後の朝命』 の支那都戦トーキー・ニュース映 に就て』と聴する課点、本職提供本府鎮用措育田歩兵少径の『上海

された「宮城に女裝の高橋由美」

京城軍事後援聯盟が主催

ける國民の歡撥、各自の職場死守 いて時局に関する減減の風俗態態、雅方態度、際が郡と三百六十四名。 観察、中無は、明華人有力都を鑑って、島部と各道第一級に通載する り数群各道領事を初め實業祭、書一十八屆二百十八郡二島の居邦、郡 による内鮮一等の酸肉、銃後に於一

語香は事が「秘生改成に三回に重」「痛聴、 夢上來る中四、五日 職合館大蒜堂で大僧説を開催し南 を京城に召集し西大門町金融組合

總督等が時局の訓示



逐に仁川で捕はる

まりアデ

月. 节月

持式會則

日本政治監察衛命

9 =

Columbia

二九玉 三〇

會









発 揚動

水ボンプ

資本金參千萬圓 離式 頭取

地大阪に支店あり 金郎谷地に支店派出 有賀光

音车 通賦 京城南大門通二丁目百四十番地ノー 銀定 行期 朝鮮殖產銀行 葉貸 为 日本助点 行 理由 뻂



青半島賣備の第一級に活躍し一の運査になってお園のために遊す一在では元繁も依復し埼玉藤浦。

の配問品を飛士に明つた。「K、脚(谷光照伯は北支の阜東は間の脈を見た照識させ、勇駕翻話、忠物等)「COO廃手特派員及1年八法上大長を脱離させ、勇駕翻話、忠物等」「COO廃手特派員及1年八法上大 競を献し、廿九日〇〇〇に〇

北平に向つたが、六日京頃に邸る の河野都線長の案内で一行八名と野である ○○部隊慰問 大谷光照法主

北平を出題、卅一日午後一時頃 ○○○○○の部隊を訪問、思ろに慰

各地の視察に向つた

合百師の花嫁 泣崩る



い症状を詳し

る罰僚法を可認題切に敗へらる から治療す

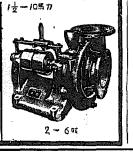
元之**国新**日每阪大 日日京東 歌選當集纂賞縣





ぜん息・神經痛や

歌聴っけ



三菱商事株式曾吐京城文店一 季 暖 鹭 店



十六十一成位)

滞行 ・ 良普通 ・ 方



歌の管記

- 纏つて献納の手續き

道民に代つて敵の不義を撃つ

|時から旺騰性散将で緊急な地球|| 高射散機綿酞的金の線派は一萬二|| |本部|| 軍事後接続間は四日午後||して四日までの木間駄闘谷的金及 木浦から献納する 資金は豫定額突破

日衣に包む戦功

れ、系偽に脳大鼠壁された防藤閣 - 馬山府原町尾腹:三年後三時廿三分を腹を覆が越せら - 十四名▲拳銃一挺及實包・一四名▲拳銃一挺及實包・

段の夫人連は家庭の職暇各自竹枚

「戦事」併東選長大人をはじめ署

郷巾を費り樹金

水も洩らさぬ管制

元山は一瞬にして暗黑の街

全防護團員の目覺しい活動

防空綜合演習終る

える」と認め職

別先金として殴つ から同様五関の質者を封入 覚悟してゐる身には意は不要で

福留准尉以下十四勇士凱旋

驛頭には感激の波

| 響く元山防御脱非常呼集のサイレ | 繁華降降に演習の幕を聞おた

三角伍長の戦死

負傷を職して應召した

学に上り近江事後接続国

都六十回を目標に就金を弱つたが、は殿間分類をとし を開き、高射機関銃の動物数につ「干百九十六回でこの中八千回で高 いて協議したが「徒切木前府で三一射機関結四路を動物し二千五百回

忠北號の獻納 金田山内から自動的「四郡を越南することに決した、昭」ると

八萬二千圓献金手續を終り

个月末命名式舉行

具つたお禮を

「行川」小學校別議に左の如くお。

置命は入蔵、首軸といふで振り、して北支に砂地することゝなつた。「年人は開けとして本献は川支局「周州」健康の、愛国都忠北神猷、まつたので近くこれを第四次分と「小遺跡を可辨したり本版を買つ。

成、中野黄五郎、川豊田三郎 今神の心聖部を入れて欲しいと変。本職へその手助きをとつた世道したので背闕内特的長。なほ今後からの散励後はなるべく。皆能したので支局では重しに四日

人邱の護りを固むる

空前の大防空演習

日午後三時から實施

その儘軟金 「新京」路口市間を命く無地の窓口前では一角に数にする頭部人の田

鮮農の赤誠

末班海州で命名式を単行し同

[新京] 圖《阿敦化學本部釋成明

献納の基金

电光道器工业接收支柱器

【原津】程に限い戻く愛園美級の一らせた、第月になつて獅く廟上が - 公立晋面學校五 年生末。智明し別韓第二回を同古に贈った 感心な公普校兒童 り五月節持ち皆りこれを基軍の極

日午後二時かを組動はし大師府始まつて以来の「で本演習に難じて暗空観習を行ふ

後に溢る」感激の献金

から慰問金 第一線勇士

田」四日盛兵分縁に葬ひ込

一兵士から戦友の家族の慰問かに五國の韓善祭を封入し〇

再起の意氣 燃えて南下

の野日育長に北支第一般の野生が残って来たが即に軍事後援機

【〇〇〇】北支輪線で名誉の資料

きてあればよいのですが、少しなの化粧品を用ひてみ抜したが

か良い薬は?

黒と脂顔

(竹一) 際色の駅の人からすればなもな無時 粗質物力の 著 しいものもございますが、これ すがらお製め出來ません。 先づ智識内服して色 らは非常に危険で失敗すれば大魔な事になりま り、沃度を含んでゐる蘇草類か、酸味をも 柳寄、作用型としては比麼化成素限の如く として内部から云ひ仰へられてゐ 。お野れの色の白くなる際配と申 が難へられてあます。

別へば昆布 明らございません。 例へば 飲題で くなる際品がありましたら致へ 朝前を活性のコロイド状態に保存するのに関め の歯骸をし直つニキビ、吹出物のឈ皮となる腰的作権と殺菌作用が散揺に苦し、由脂酸、液酸 手載がかかるうらみがにざいます。ですから貴 知能階級の家庭に配行してゐまナレオン批戦ケ 響適の硫黄でなく居住のコロイド病質といふの ます。そこで最後にお眺め出来るものに発射と 肺の効果をあげる事は極めて困難であると低じ ド病質が出る様に仕組まれてゐますから貴女の リームは使用の節度完全なる声性状態のコロイ て国際である戦が快路でありますが、高明な 美容器としては豊穣的なものでございます。以 女の様な健康選で師多にながはこれによって登 して解析が最も宜しうございます。然しこれは 間がいっています。例至く間作用がなくなりますので これは能報調節の持つてゐる皮下国幣の際

料としてお残め致します。 「レオン美容・読部】

採に色が景、併も脂類に僭むだには随好の美容

ませんが、効果が大魔まどろしく、その上相節

通りこれらは安全には悪ひあり が最があるとされてゐます。然 か、赤は林崎やレモン汁を風明品

てのものが既に環

にも禁しい事料が來ました。餓乱らいで來たではありませんか、饿なくシミやソバカスものしづゝ聯 (講称)自然知の難く成敢 の伝々様に厚く観音用上げます。

こ コロイド、別歌となりますと歌がは はけんだり 歌のを経験された戦を のが配に 郷服の されてるますが、更に之が高性の

二羽鴉の私が

他勤たる雄心を自攻に縮ひ四日午一院に入つた龍伽明士の比名は左の

し原助を出て名誉の戦闘を行つた

建にレオン状態クリームをお送り 特別取から動社の学数クリーム があまりの取しさに取り変質気を したは悪してもました。それの大変に合かると、まあずの分裂し コイド観響となりませた。それが、みます。鍵に観響ではございます に様子も帯は圧の形で変形を取りたほどで自分ながら転し り馬を離辿りる拡撃と要素に暮れて くなります。鍵でしてこれを利力を変形に入の成態と共に色顔三刃易と強く くなつたわれと騒がれるやうにな 既になり、中の会話観光解析がないの成態と共に色顔三刃易と強く くなつたわれと騒がれるを持たして、なりました。 というない いっぱい これてみますが、更にえが高低のない これで表すが、更にえが高低のいっぱい これであますが、更にえが高低のいっぱい これであますが、更にえが高低のいっぱい これであますが、更にえが高低のいっぱい これであますが、更にえが高低のいっぱい これであますが、更にえが高低いのない。 脱紀の第一さいませ。先日は早一に肌目も細かくなり、製色的くな 宇宙時代からあと、お友選に合ふと、まあずの分美し寒りございました。 も出なくなりました。 學校時代の の細かい色目に 岐阜縣 日比野み 丸子 る事が出来ました。その上吹出物

酷い脂類はサッパリと ・ニキビは消えて ・ニキビは消えて してからは水脈「申しとげた水脈でございます。 してからは水脈「申しとげた水脈でございます。 の洗鸛クリーム 一があまりの盛しさに根の電気液を

これは丁唐人並以上他の爲い

素を積白成少し且つ皮膚頭の情菌

学程則から観社の洗額クリーム

さいまして誠に朝 すっまつたく館職のお歌と殿訓帖・アン梵蔵クリーム ても的くなり家人まで競いてゐま が野と無類仕りむ一なる事が出来ました。 一緒を操には御便一うすらいで来てせい!した前に また使用日間はいのに頭色がと

たっその上四一頭のニキビも大甕――先は腹が悟ら鰕部労みお眺ひ窓がすつかりなほりサツバリしまし「跛りしましたから近しく眺ひますに取ぼく」「骸み糠けてゐました暗鱈」りでさいった近は鬼目機能にておしまンを眺ひ出してからはあの―― 綿御手飯でせらお小覧-~お途 開御手数でせるが小覧一ヶお登

とソバカスが

かりの動力の強い製品を差 上げ たい

れ何時も日間しく思つて国りましした。一點服佐は明本効果が見え

こりバカスが即中一ませんでした。実験されたのから

買い炭めました一で使用し聞けました。皮がどうで 出るのも恥しい。しかしこれが観覚で動かなければ

してなほしたい

グにて護国首の一社だん(一台くかりを代ばかりで、一個数様の上海利用するい。

せってれから二個にたつた頃は色 それでよいと手ゃヶになって水中

会 無はがき、 日本・戦略、 ニモビ・ 無はがき、 日黒・戦略、 ニモビ・ 他はがき、 日黒・戦略、 ニモビ・ ソベカス其他自粉傷や小猫

られるのです。 北てみますが、なるべく 聖難し たは、地での一貫を入れている。 ような (聖徳) からは 安さ 国際小川町街 三丁目 株式合社 レオンーレオン路 線クリーム 一体寛東市線

aり生すし"消料が(徳用龍二十 級ひますが、間での鳥受 に学蔵

大きた軍艦はずる。は陸風のやうな軍艦になっと、

ったい四十億い耐量はどの他の形

、いむ が今日では 策震中の役害 腰角へ

いる民権のがついたが、スドンと、日本海大海野に於て、解雇主党の、まことに認るべきものがあります。てません、敵のドガに命中解理と、でありませう?あの激烈を使めた。べると、今日の四十種の能力には、

は、前部母部に逞しい姿を見せて **逍毗野頃には前部に一門、後部に**

| 第60部に足し、姿を見せて | 50ですから、さうむやみには打 日第職筆選時に比べたたらだとう。その費用約二千五百国。これに「服績を見てまづ目につくの」れに一般打ては、四千數百圓かか。十歳とされてあますが、これを、「時間は二十八秒とされてあまし

ラホマ號の主砲と米炭艦の砲塔) 大口をあけた「中砲(米國巡洋艦オク

いんへのところでせる。そ 今日の難総中の優秀主義はこの四 口着薬和離子し行法の者領までの 一十種で、羅鬼の目方三百八十六キ

> 防空器材献納試合 廳の反撃ならず

焼銀売□000201101

映竈ニユー

前日同環厄く勝つ 下の股間を見事扱いて二者生還 たが九回塁代打並日塔の一撃井

メブル(ッメーにも向らず海峡 が、蝋泉山回館から変分して混 け目した回部の様をよく選んで 出でこれに早川の好行かあって で質に母語を重ね、八、山回に で質に母語をある。

さらご、とこ、とこ。 一、 決勝付納野線液 戦は五日午後、時に傾めやうた水喰りがドッとよう 林祇西海道原史秋季大連第二日都のたるでせる、百米ほどっ大きた。 見典書楽野塚線閣主候朝華原家のさたるでせる、 めに、軍艦の無が離むとさへい 罪が軍艦とスレー たとしても、その縁然に良動の (C) (FIII (版) 三時間(市底) 三日 (E) (FIII (版) 三時間(市底) 三日 (成) 三時間(市底) 三日 (成) 三時間(市底) 三日 ス園五で店舗排切られたと見た のは天建学園舗で推址的となり 両は天建学園舗で推址的となり でグランドコンデイション県く では、大選学園舗で推址のとなり では、大選学園舗で推址のでは、大選手 では、大選手

能規などは暗の長言が天龍二日メ 建で、重磁の大き方三十が、影響

> 金野都は一人二級計以内、一人三 目は原河帰場で銀行される、参加 十鐘の琴加料を添へ計目までに本

> > 86454 2931795

上保養 坂部 田中

大山《野原鮮盛!《併্數數十 行亦并、保收、橋邊、東、係、 行亦并、保收、橋邊、東、係、 一人以(徐原剛華代東) 一一等 一人以(徐原剛華代東) 一一等

陸上朝鮮豫選

が出来ないといふのですからすは「佐計四回全B本語主事技術手搬入」 麻原養局能管教育課内全難警託主 して大きたもの、『しも甲擬の「鬱歯解発薬薬は集の仕五日(年後、遊技職薬(用込むことに無数を作つたとしたら、ども「三原半)廿六日(年後、一選技職薬(用込むこと 二十五日舉行

終工後被谷郷盟曹長より浦銀佐藤

前に侵勝而を授具二日間にほ

一空氣の發明

橋伊瓦斯には能り減がつかず喫ス無用にと考へてある、ところが米國カンサス州のマックピーン、クセノン第の元業がに株成されてある。 製火は解薬や栄養の歌用は知ってあるがその他の 極素の網幣瓦斯や酸素と影案との磁合瓦斯のみの場合には、これらの動物は死んでしまひ、こ れで稀少瓦斯も動物生活には是非とも必要だといることが判明した、なほ繁素の代りにヘリー ソソン大學のヴィラード・ハーシエイ氏が十五年間既確及境を使つて實験した結果に依ると、 上のの警察、甘一のの受験その他へリニーム、アルコン、ネオン、クリ 構成元素を置きか

富士山(特緒)をFの下に

二十キロも飛る弾丸

四十センチ主砲の恐ろしい偉力

学紙にこの 意味 商標を利用した レイベル

もあるが、とに角日本型の言葉で「栗京・芝・新稿上、販売証) そこで白線がは、(Zettel) かい出たものだとの誌、近続式』関崎義選『萬葉復興の性 また様はスポーパ、また、ドイッ灘のツェッテル ◆原歌師第(九月鯉)『和歌の茂 出す好称物です

ではレッテルだのレベルだのラベ一郎る失魔な話であるか、御婦人に一造社

が四百以上も作れるといふのです。は小住宅一般が鑑案の上に載るわたらかといひますと、八椏の歴數。入つてしまふといる耀で、これで

から、習に大した聞言です。何し一けになります。

至く遅べる城の備

る煙突の上に板を敷いて座敷を作。浴を現したもので、彼に堂々たる

たとしても、八種大衆三、整位が「形容を示してゐます 露出過度御用心

被寫體はます!」豊富

五十銭、東京・芝・五橋七、取 ドに展開するスポーツのさまざまー俳句研究(九月號)新秋作品號 - 浮き上つたトラックに、アイールー (六十銭) また紙はスポーツのシーズン、 の表態を適能に捉へることも、こ

英國の首相

世と地震度理の数。 はたりません 歴と地震度理の数。 はたりません ターの意要も作の | 杯料の高感度、強軟色性の特徴を一種が配立された時首相中パート・ ひ裏出過度を懸成し、縁折り燃光。有明な名異革命後初めて直依内縁。野外での撮影の然にも小紋りを肛。は今から約三百年期,範國史上に こうしゅうものしませらしい住が「で掘つすといぶ出線跳いらのであればしないまが心響です。 月彩戦 ウサルボール動がジョージ工世が上来では全世 一キャー(きょせん) 設備や原明設備を加へ面目を ンドン・ダウニング

真夏と同様フィル

要であります。ゆ「使くたれこめた実」でわめく進本「髪を加べる」要であります。ゆ「使くたれこめた実」でおめく進本「髪を加べる。女子回犬を何とは彼の操作が恋」者語が生れませう。 受に於けると同様。大物を強刺で、心根いまでに継続。 へば細二十年動劇く音楽が遊げしたりません。真 荒れ原標の目の前、として由―――となつであず、今までの修練としたたりません。真 荒れ原標の目の前、として由―――となつであず、今までの修練といけたりません。真 荒れ原標の目の前、として由―――となつであず、徐任古相の編みの概には明明主義。 には目中でも吹しば映らしい目が こ割つナといふ由禁漉いものであましい(概則の主義)には目中でも吹しば映らしい目が こ割つナといふ由禁漉いものであ 一般理は場た前明で認識の立ちこの

一ら避撃中にかくれた形骸を五哩先 供っと飛行権の先端にも**装備** である。または職時代だが質量に なので行動に安全に動作出来らば(一回が来ると野餐が鳴るといふ仕組み)▲接 感要し指針が動き出し一定権に針 一十二理先の機器の光を見くも

から鍵脱して質報を襲したという

▲日の出(九月號) 韶切小説傑作

趣問・市政會館、和斯衣管▲海師(五月號)一丁誌、 域・蛤町二八、芥の酱吟社・蛤町二八、芥の酱吟社

回職に始すり三谷、階級、長澤、上り卿宮原知において先づ早立二十ヶ郷第二日は五日午後帯時五分(東京完計)県京大學野塚秋季リ

早立、明帝二回戦

一人今晩のラヂオ

一そこで白織がはつきり線の芝生に 大粒の雨、楢らぐ木立ち、あらゆ

れまたスポーツと呼ぶことが出来一窓傷を受える。 既に避着すると、もつと重要悩な ないとさい際ふ。 既に避着すると、もつと重要悩な ないとさい際ふ。 発ぬことは止むを群ないとして、ちものとことが気にかくろし、

ないやうな気がするし、さらかと一途はないことになるが、そこま **うならかと思ふと、もよつと死ね との三人が、同時に死ねより外!** 霧のロンドンらし

此の度英國の謎則家ド・D・アル トリッチ氏によって態度された。 魔法眼が發明された

上野櫻不町二七、砂子屋書房) 芥川貫作品(一配、更京・下谷・ ▲暢氣眼鏡(尾稿一雄著)第五冊

|| || 加五十銭、市豆・日本橋連2|| 二三角寛孝:山湖蘇蘇の頼

後、寒泉・日本精通三、谷陽紫作ユーモア全集の東六側(八十)▲青砂線山龍(総子文六巻)

中に艦驤される特長と石做されます。樂草を配合して、天然自然の風土氣候の樂草を配合して、天然自然の風土氣候のの靈能も醸造所が高地で高山に野生する 強腦强精の目的 産新盟計계として 衰弱の人

體質の 呼吸器贏弱の 不眠息切れの

町の香味と 個の 悪いと

の秘法で醞醸される深山仙酒で、弱い身扱三千尺の高地』で鹽澤家三百年來家傳 體を强くする滋養强肚劑であります。 川四十里の上流――天龍峽畔『海 られてゐる養命酒は、信州伊那の 名物 今では海外にまで、その

この醸造所から登る赤石山や駒ヶ岳の高 配合されてゐる貴重樂草は主として、 探集する高山楽草であります。ち

か頃高山にて 同じ天龍川でも下流で漁れた鮎とは、別 就概が、 能めて 外 の香味の基であります、深山仙酒養命酒 水に蒸す石苦『鮎の主食は石苦』が、鮎の魚かと思はれる程並ひます、上流『清 『す石書『鮎の主食は石書』が、鮎 れる天龍川で漁れる鮎の香味は、 見は高山に自然に野生したものと 似てゐますが、その香氣と、その 山樂草も平地に栽培されてゐます まるきり異なります、醸造所の

根氣薄弱の神經衰弱の A A A A

信州・伊那の谷・特産 し肉を肥し

一つの衝撃であるといるなべ方も、くしてゐるだけに、もうそれで歌 死は人間にとつて 子供が死ぬ――八年前に一人に

時五〇分物縣(東) 湖水將 勝五〇分物縣(東) 川本瞬期外▲八 明本時期外▲八時二〇分七五尺八 原本(東)川本瞬期外▲八

レツテル

但し、レッテルは長崎の関型時代 ルなどと訛つて呼んでゐる

ん、あれは怪しかっしている人があったがすばらしい」などいる人があ 『レッテルがいゝ』とか『レッテ一林、土用波、荒楼、岩礁、梁然腹

語さ凌ぎの水鹿びっ

中が一つでは、ま

郎に取いれたんでねえる

院病廓遊原吉京東前

▽動様、息切れしてほす、金井こをする人(中外、連▽別様、耳鳴、眉様、手足の痺れる人(中外、連◆こんな症状の方は是非一讀あれ

(中氣、神経痛)

が出た苦しみ眠れぬ人(梅毒・神神殿扇)

排除血液循環とふる血療法

製期

込所

『あッぷー、あッぷー』

『しやあ、ここで関から』 塊を通る人があって、川の中の

米を働いたやらに立てた。

料にざん。こと間が、水自治

話をいたします。玄太難いた。同べえ。排削ですからそれでは

は茶出して書りました。……驚々た。その後は遊戲して暇戦一を戦

で資所設置のフルチ酸の

以前の台詞のつ と きを 気いつ 思えるにい、確を止めなるでく

節は前述みになって水面を除っいると

促君の「ふる血

ヒステリー

始末

^東 川 安

多门川安

京

晃 榮

夕ざれの流れの色に、ぶくごく とのし、忠次郎が近づいて又す 谷川 H 率太源

一次部は水に、遅れた。のでもな。にかけて再び投げた。 一般を光らせた。死に上行く別間に手をかけた。 いしの思大あにいとい

け、戦びがはり、

「死」のは止せ」

平陰岐守の奥方は

道三法印の療治留書

のヒステリーから来たものであつ

古秀區頭

吹

動化はしらならせ給まい、耳鳴り、肩健と

の日の出

を拜む

00

をのむ

それで一日爽快

のぼせ、めまひ、耳鳴りや 煙草の事から 吹出に悩む人

生きて選ると

思ふなよ

白木の柩が

出かした我が子

島田碧也作詩古賀政男作曲

またが、遊話の刊が置

興へた所が見ると戦は極極声では が、感としては沈西天脈出などを

銃後の赤誠! 母性は叫ぶ

頭もハッキリ丈夫になる から背頂ひ込んで一度は治づた密



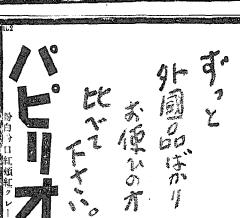
頭重、耳鳴、吹出に苦んだ

古い病毒が

火火方に













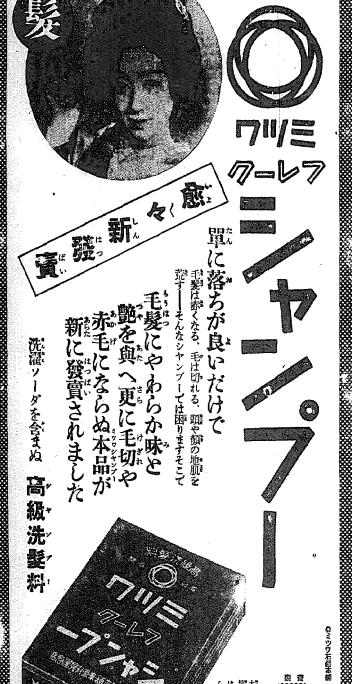
阅日活日活日活日活日活日活日 出域疾烈 間日五二日七月九一日三月九 スーユニ界世日朝 スーユニ海上支北日朝 日本 スーユニ海上支北日朝 日本 大一ユニ海上支北日朝 日本 大一ユニ海上支北日 中 ち 悦花 (岡旭 単結形の温能 編結院 膳 左 下 丹日 大十 時 十 明年 100 ~ 100 は会別やちルブムテの本日 「無理の高語かの選辞」高語完善施士下丹日 分十・3十十明年のシャドニ中理・シャで三人大の およう十二時へ後午・代部中 した部人が理りませた。 日末日末日 記 栄 妻 日末日末日





雅 の 父 篇 間 祝職 支北 海上 宿 の 居 篇 後





ち、よくく作歌歌が大いです。 はお師まで売らす歌がありますか はお師まで売らす歌がありますか いため、既に

▼ (京市内は一個にても配送します ・ 京市内は一個にても配送します ・ 京都代用三回以下よく。東 ・ 京市内は一個にても配送します

東京・兩國

丸

見嚴

蕳

MUTUUAHARISHAIDUT

约十三金 入伍会 超五会 恒定

(106)

るない 神田伯治演

藤井耕達書

源『近月の人だ……一人か、ウム 江戸の路と聞くと、少し場門だかどうかだんな人間にな、施アモウ

第四 東台 展示が水島県代、臓・神つて来と、ツトラ発症が出りようので、個人家の 東台 原文 かりまして、すって何度で進んったから大統領けらんにすった ヨ

一切やてないから、斯ういつでもし 紅戸の超級権権で命という指定人 の様な樹塾をして居っか、どうも

等 明 の化物が出っ、先の部分のお内臓 / 存て臭れ。 - よっか行って見る B () 作出、脚連が出っ、光の部分のお内臓 / 存て臭れ。 - よっか行って見る B () かやすれえか。

11.47

が、今後はマノ大崎なお客にが来、上って夢りました。鳴下で家の戻って、お宮橋が明ともなかつたの、第で際三郎が翌朝子からソッとさんのおしげさんが担っなんでい、「第では「第一郎と関子からソッとさんのおしげさんが担っなんでい、「第一年 こざいとす。どうも歌勢が行うこ。「歴二號の実命りの紀上の所(来りました、順巻は十六人のお停さ」第『羅かにしるい』のは、東門職はかりあ。女『まや眩夢……』 て、貧い共富さこざいます。後を一の子に出垂ふと。・・・ 一て、端子を翻目にあけて見っと、 - 養暖点間で ドンチ ヤン縞いで居 る、突音りの床の間の樹に胡座を

なで

源にサム、水の型と三種といった。

DEPENS

プラカフェの大陰ぎ、治皮四ツ地に、なお突続だが、よの不は証白ッ子の外ない。 になっ、前めよ郷でよと、チリカ から、おきまに関いて見たのどんの外ない。 になっ、前めよ郷で継で通されて、キアない、そしな心配には及ぼなの外ない。 にいる (前のより) から、おきまに関いて見たらどんの外ない。 こうとう (前の) にない からには (はなない) から、おきまに関いて見たい やうだいがん (前の) から、おきまに関いて見たいというだいが、 (前の) がった (

が九種だくもせ | でもと交きれを状中へ入れてしま。[7年17の人だって] 事である人して「せると交きれを状中へ入れてしま。[7年17の人だい] 即りに共阪を獲り的 ドツシリとしてある。[8年18年18年18] 第二回度の人だい] 謝りに共阪を獲り館を存んだといふやらな懸穢で、「守におきぎが出てほし

で心配すると使けねえから、思せ、人かい、脳の一座の窓は、

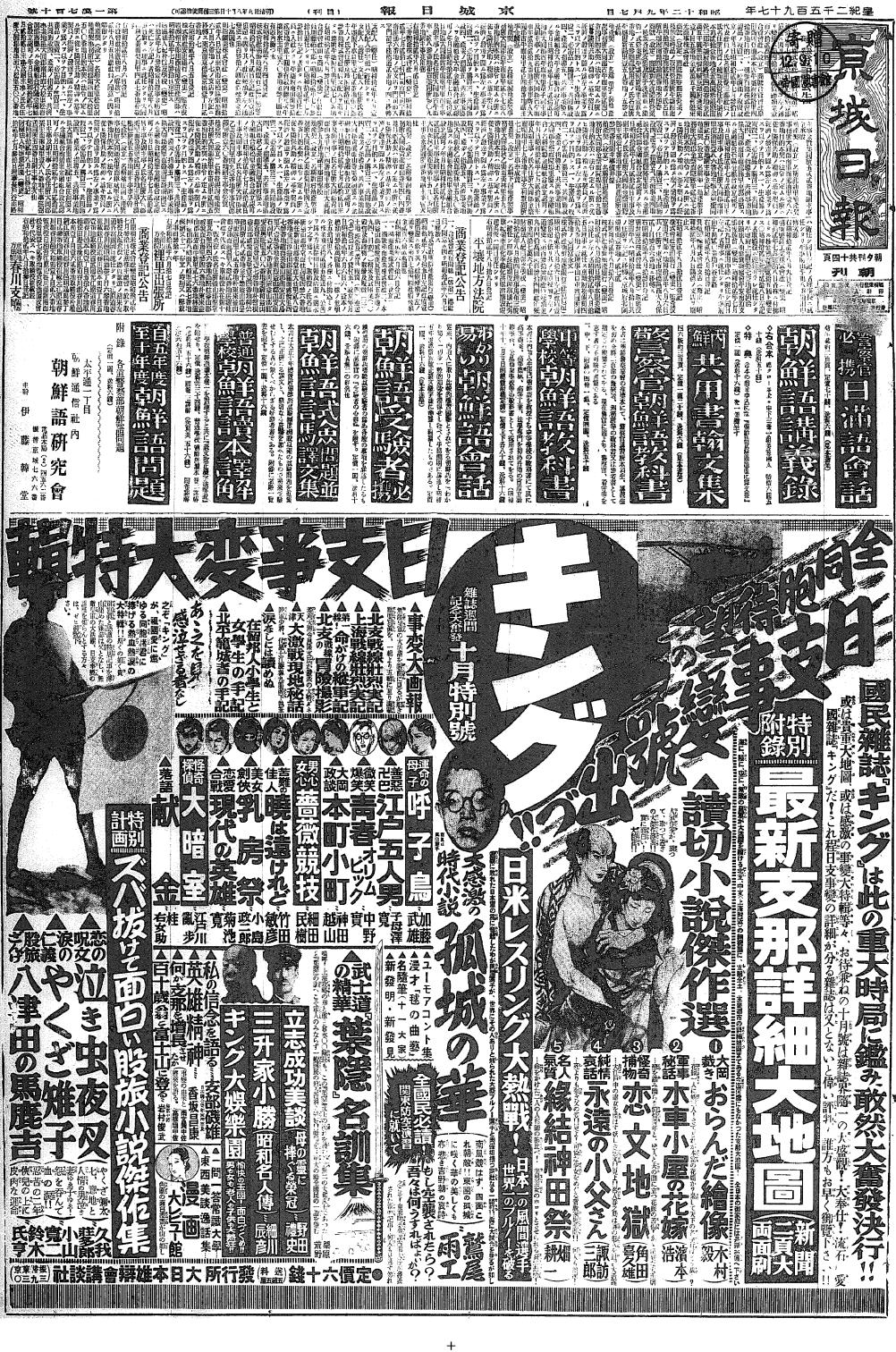
若い楽がヒヨイト見ると、蛇が一種『誰が出て居しん』に

すっちまきが出て思いら

動『お金がわえと思ってお割の方 選「人と「概での思言にな、何か」数を引摺り出して、 関「金にはせて、熱変な単と呼んで比したと」 人なに疑いでは、光変な単と呼んで此 人なにないでは、光変な単と呼んで此、 お

源三郎慄上る

置い物はドント、揺つて乗いる



支那を反省せしめ

赤化勢力を驅逐

ふ答相首

|| | なは近顧中、酸は耐魔に抵。の三角洲は共分の手に歸した || 我剛長之に歸力午後四時に | 【唐官巴六日同盟】馬嶺川南河

萬を集結

找軍の意氣、同省を呑む

一敵を急襲し、六日午前七時五分東天鎭の要塞を占領、山西省の新平保を結ぶ線に進撃し更に西進して左右雨翼部隊は友軍爆襲 一角に日章旗を飜した、〇

に攻撃を開始 銃砲聲天地を揺がす

「住官也六月前間」 野瀬川曽池河 中北第二十五師、四師の一郡も書 ・ れがため昭原にあつた兵二名質「住官也六月前間」 野瀬川曽池河 中北第二十五師、四師の一郡も書 ・ れがため昭原にあつた兵二名質 一二 角 河 我 に 貼けて列車師の 一層対象をなした かけてゐる、これらは百九底を主、波線を突破断進し來り底宮田職員

り逃れるため

ひより巡れるため第三國の介入をたが、その貢献は恐らく城下の監

きのふ外交部から發表

【香港六日同盟】六日朝我〇〇賦 | 政府が五日支那の交通運助原成の「暗き顧勘、開永の二姿でその中の 航行中支那結構監視所「職大を宣言して自来形物の収穫で」一歩は小壁にも整備し來つたので 區域擴大宣言以來最初の收穫

・侵六時赤。突乱支那能政は耐温に抵抗するの。投六時赤。突乱支那能政は耐温に抵抗するの。

燃機

界。

嬴

伴浦線修理成り の敵を追称文正際、日下職して敵師地に突入、狼

支那監視船を拿捕

でいるれてるないことが実明した。 取は、午町十一時我が陸軍航空隊 中まで発通した、倫毘歐河郷路に

|改功、見もつかずに襲敵し午夜三||政せしめた、そのうも一隻は火災に達する無江クリーク敵的被機に まい別近海岸に下陸させ春港に随

の共同招請状發送地中海沿岸図會議 るため、近く イギリス、

ると云はれる

が 一、 風吟馬の移動翻波に関する法 は年後五時期倒 は は不 (政府提出、 貴族院近付) は は 保証 (政府提出、 貴族院近付) 『東京電話』六日の衆議院本句語 うな気がしたと いてゐるのさ』 がこの間、娘大法 がこの間、娘大法 と盆を街感してと金を街感して 支壓都長をやめな言語で廃腹が |地下宅の金魚郡 の委員に別形し なしそれん(節 分数にて耐災 の題の定点を描 今れ (一に耳 髪の毛が無難 先に浴て、 見たりする へついよい 立つたまい 永い関手入れ た青年朝士が 『眼だから 一只没被官吏 精流しの年 100 呈蘇 少僅対絶量賣消料燃之比= 機他 京城府京城縣前 强錢 ッ当力馬ー間時 置 社•大阪市 製 産 E 北風茶屋町 で語作品で 域 支 動 發 動 在 庫 쁥 四十四馬力四十二二十二三周力 □ 十十十二馬力 □ 十十六馬力 □ 十十二馬力 □ 十二十二馬力 □ 十二十二馬力 百二十馬力 富 一八馬力 士馬力 **審店機 赠品供試第次**. 呈越申御入記名單新此

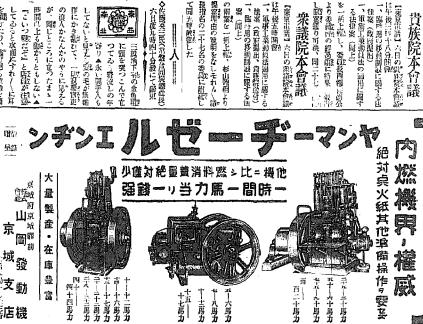
佐守曹長戰死

我眞意を闡明のため

ぎこれを占議した、こ難関で陣面

【東京電話】選出外担は六日栗龍「国政府の立場を闡明するため時米」誕生以來帝國政府の資意を演外に

民間代表又は國民代表として





、 取り進かに支那に對し、 変に をして執るべき手段は、 出來得る 対源乱に於て、 『今日この際管國 確然として定まったわけで のには、『長期に配ら戦ひも勿 術首用は議館における施政 「與へ、彼をして職態を喪失さ 言明された。以て帝國の態度 第一戰術 区期戦への

蔣自慢のマ

ーチン、ダ

グラス

父那軍の飛行機

に活躍し我市に射落されたノース・妙を握めた機能は活法とによって、異編一門・久三米・発長八・七九年(十二) 獨建製のユンカース等がある。併のカプローニ川、帰送機には 支那には結局危險なオモチヤ

、可動機關銃一些、操

之を朝鮮總督に屆出づべし定むる所に依り事業計畫を

期項の規定に依る命令ありご 期項の規定に依る命令ありご 期づの規定に依る命令ありご 保付に付給書調はざるときえ 保付に付給書調はでるときえ 日前に依り別規定に依り買け 金を観を気すこと確けさるとき 用詞に依り別規定に依り買い をで観をして、 のりた ときは課を入くは概じ をでありた。

ノースロップ

はあてがへない。な子供には、危い下したとめなら ころが、その危険な外国製品 あら皮肉や 危険な外国製 ロップやマーチン等は天の橋な迹、別園養癒の前となってあるもので、「一世子八百五十七嵐」です。 不明日地、自 重子八百五十七嵐 につ アー・エット・ 一世子八百五十七嵐 につ アー・エット・ 一世子八百五十七嵐 につ アー・エット・ 一世子八百五十七嵐 につ アー・エット・ 一世子 (つとく) 朝鮮産金合に就

てある。これら支那零軍の機構 ースロップやマーチンであるのい 55外なら真御自身のアメリカの. つて既に第一線使日盛を破壊 敵の聲に聴じて立つた大腿相 しても皮肉ではないか

大野政務總監談

その所有機について解説しよう 五十台とは言ふが、そのうち、 文肥経軍の単睫的における権敗 九百五十台

之間が用を隔成する飛行機は出 米伊兩國製

見望なるものを示せば が大部分獨、帰盟が若干ある、そ

鮮剤質之を定む

金製錬業を営まんとす

五十回 战商安逸郡文山面岳

五 植村病院長 李 内 動

日計金五十圓

|釈各頃からの街七塚ので米、伊嬰

制令第十六號 朝鮮產金令

操縦士は興計級八日であっか

皇軍慰問金(寛容をさふ)

塔託金

に去る四日出産奉大にて趙迪藤 掘せしめるに決定、臨山理事は

九月五·六日(譯)

五十六圓九十九錢 京畿 日計金一圓 ■ 京班府漢江連一五 財内

三個十錢平北、官川、

佐々木四信、趙永玉

| 自込む続連切 | 徳|

せると認むる動品をも左の如

三十六圓二十錢 京畿道三十六圓二十錢

原城區明治町二ノ九

十圓 (意央第)京號道期豐縣 開聯縣土道面與第一年 (100年) (100年)

圓四十八銭 京装運転川 十六圓二十二錢也累計金五萬八千二百九 日計金百六十二圓三錢

朝鮮防空器材献金

1

氣

夕刊後の市况

二圓 或北汶山都延上晋通學政金 菱 節

文山面町月里 | 山面町月里

川斯米本軍

九圓二十九錢 威北波山郡 [年] 宋計金三萬三千九元圓二十九錢 威北波山郡 [年] 宋計金三萬三千九元縣 成北波山郡 [年] 宋 [1] 宋 [

日計金百十圓十五錢

總計金九萬二千二百

十二圓三銭

曾員の奮起を促し

今月中に第

運保持者於重長者は去四月ブ洋アマチュア拳闘フエザー敲 朴龍辰選手印度

報告しそれから天微線領事を訪び、、そして大の活動への合構へを 総後の渡りに盛しつくある皆情を 第の下に済者いて然ら緊張しての が設合指導の下に 一会協力解認に 更に避難民を歌聞したが客局の保

北支の皇軍に感激の慰問

動勞青年の

諸君!

目は東亞に集中

世界の

٣

全國の勤勞青年

教育機

君が今にして學 て緊張の時

ばざれば

の將來は誰が之 を擔ふのか

切に諸君の决意を望む。 詳細は内容見本により説明 即刻左の講義錄につき、 す。至急申込まれよ。 識の向上に努められよ。

中 等學 校程

電氣 高等女 業 學 講 講 備 義

門學 校程

冶 學 築 律 響 濟

(申込所)

してハガキで申込まれたし。 早稻田大學出版部 振替東京二二三三

工學講義 國民擧げ Λ. 國家 一年半修了 一年半發了 月 四世代 一ヶ年修了學典月]圓 一年半修了學習月一团 知 雄久 田角 地域を連んで 水谷標 197



熊谷少佐に 質問の含め

警戒管制にはい

窓には黑いカーテンのご用意

射戦がよかつたといふことであり

を 開かそのあかりを留り

機さんが側家庭におきましてはお 互に光りが少しも外にもれないや

支那の飛行機や一個したので

目前を建することが出來ません。

の間------八月十六日に上海の露

の部一様でも行ってんてはその

慶が、見織りの人々の去つた謎のと山口のけらへ去つて行きます。

の末だ覺めやられ人々がぞろ!

に恥しいと思はずには居られまた見ました。この時私は、本當と日本族を拾ひあつめてひるの

明子女史孝聚)

聴取ったもの、頭の中央に丸く織カプト の感じを出して、いかどでせら『駿カア

(あとは、 湖の引くやらに異骸)

派の坩堝です。汽車が出てしま。

さらが、『勿盟ない勿盟ない』或ら時期が重要で、一人のお婆

上言ひながら、この泥にまみれ

いれるもの等しく停車場は、國

のです、商寳をするものは平築山 内では各自が指揮かに仕事をする りやる、灯はともしてゐてもよい

ればならない

りょう ということになるのでありま ファミとしょうとは、からした場」である…… (異妙と示して) からった の類 公司 おか (このか) このが (このか) こので (こので) ということになるのでありま | ファミとしょことは、からした場」である…… (異妙と示して) からった 場 (こので) からった (こん) こん (こん) こん (こん) これを殴びますと外へ少しももれて (こん) ことに (こん) ことに

主婦の心構

2では各目が振觀かに仕事をする。ります、ですから勿顧感の中はどうするかといふと窓の。ないやうにすれば概念ないのであ

世麗して行く出征兵士、激るものく歌呼の際に欲られて、動ましく

どに、住々にして目離されること 出征兵士の見渡りのあつた撥近な

お嬢さん方のよく見るサイド・ツクの下園園のものが貼れました。

第一歳 々々の叫び、打撮

か う

堪ばかりでなく、 言ふ光景は、伊取 かみにじられてられ、 焼にも、捨てられ、 れた紙の日意底が無

心原理下を突進する形士 の面影を思んで、 変態にもご

髪型

『鐵かぶと』

を得へて打撮られ合名、人々の

る日澄師、といろ

めします。デラジルコーヒーは世界のコーヒー總金額の大型以上を これ等は高値なので健家邸用としてはフラジルコーヒーをおする といか、アンゴラなどの極難は、肺に趨合の必要はなく、しかコーヒーは各種の調子が面倒なやりですが、上等のブルーマウ 教育で、肥いるのも香電が抜けて……いはゆらべで

占めてらます。それに一ポンドで動用様のコーヒーが頂げるのです 淡白な味覺!

鮭わさび酢

を残さ、生館なら桝く瓢を扱って「て皿に塗った街を添へて出します。 解験ならば鴨水に送して違いて臨らかって螺一分がで適なに調味しい。 第一、第一次ときご含せて練り、酢

<間に卵を聞くゆで、黄味を取出



眼をムイ

なければなられ個人や、お菓子園 やん、題らやん、遊差分を吸收し 市場の小寶匠はどんな小さなもの をむくほど高くなって泉城府公散

個八銭日卵が好きな坊も

冬仕度の展覧會

キンの容強曷となり 叉脂肪の蓄敵して煙敗し ベイ 解に脂肪性の人は 毛穴に

燃料の用意はよいですか

廿日から公會堂で

日支非機の膨襲を受けて鶏豚が腿 | また欧頸も同じやちに前年の今頃

事變は卵へなで

高が公復市場の住物品中目立つてに比べると一割八分、獲額は三割

の八月下旬料料より五分三風信の

代をかくと皮膚の分泌物が 4つて、皮膚質は益々糖えたパイキッは紫 雅、ガが亜 郷抗力が弱くなり、艮

支那からの移輸入が絶えて

肉類や麺類も値上り

捨てるな紙の日章旗

見送りの後に散る花 忘るな日の丸の有難味

「持つて殴っのが阐明だと思ふ人も」要がありはしますまいか い肥料な航の躍かも知れません。 い方については、熊重に暮いる必以 たれ 見歌りがすんでし あるでせう。しか上眺とは言い研

ものは何だつたでせら

ベルリンのオリンピック大館で来ます 焼の際に對する歌じは至く贈って

その有能味を感じなくなつてゐま よりも食く、死亡とも敵手に被職除族を守ることは自らの生命我々が見途つた此の兵士選は、 図 内 に居らものは、日

く失敗なく出來ますが、殆どお便

ですが、それでもハカリ類を使へ 料理の関味は一直りは紙輪ですか ら、大抵に自分量でもよろし

位なのですが

て來ましたので、お料理も無駄な

カップや記聞スプーンが聞へられ

時は大振のご家屋には、計量しにならない家庭もあります。

を用使ごの秤

すましめヽすお

引き浴めて下さい

不治と云はれる標準も揺る して置ると 大阪な歌になる

飛びしたと聞いたら 解脱を自然したと聞いたら 解脱を自然を取ればになつて 命を

あの検束の側口から

つて、この現在の非常時の台所を

■新家庭、そうしてそうでない家間的にも構物にしても肝臓でせら ば第一に間違ひがなく、それに時

> 度層ノブ 科學の精髓が生ん

取したら、日本人である限り、ど 日の蛯の小鷹が落もてゐるのを翻 **身にあまりにも近過きる有難味は** ずりしたくなるに遊びありません んな人でもこれをひろひ上げて頬 **添れ勝ちなのが、人間です、此の** もしら、ロンドンの大 自分のもつてゐる幸福、自分の 通りに、此の紙の

「躺抻」

間は時後、一銀台の局面

鱼四段

島市

喜郎

云つても過ぎではないでせう 是天に慈弥を身た様な気候と 見天に慈弥を身た様な気候と

がないと、眼りません、紙の小院のこみからも、外職が侵入する際に **賀に感じさせられるのす** 観點を、落ちてみら目覚底にも如 し、し、世は非常時、

興心を以て、一瞬心を引締めて行 一つをもゆるがせにしない愛国の

> 累 āł

最近珍らしい 跡 勝機を逸した七五銀 の回

ですから、皮質研究お示め



ネルを狙つて模点をします と題ところは、肥も衣養との皮膚チャージが、他の





这層子





効連痢

お服み下さいすから、直ぐる

魔を退治する特効を持つて

魔低價藥 ●他に黒錠・粒狀あり 10歳(1-00) ※00歳(5-4) MO鏡(-MO

「夏から歌への衛生」進起

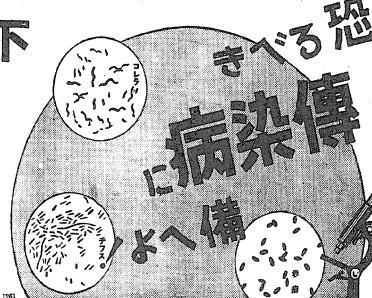
大阪市東區道修町藤澤友吉商店 東京市日本橋區本町 京城府 西 小門

は一命に関はる事がありま 直ぐアドース錠を

を担し易くそれが親しい時を担し易くそれが親しい時を担し易くそれが説がたり、不清化物をですると腹痛や下痢食がたり、不清化物をとしまった。

a call こんな時には 必ずアドース錠を

...



冷

氣

钞

·oo·大同江

所見

八三十六百町歩に逆環でをした 人つては愁外にも一萬四千二百 萬二千六百町歩から二萬六千

關係者を集め評定

質疑點を行つた結果、順記 塩化の増産に

整理事務所

の領草破壊用帯の戦量は左の通り

る、たは同様

煙草乾燥用の薪

開所式舉行

付、微收・車輛の申告及騒札取納殺施設、車輛の申告及騒札取

陰城郡の面 (第二十) 收息征得及晚晚相签(第二十) 收息征得及晚晚相签(全理的原用、组作實际關查實

八百町歩に増加してみたが本年度

壁に脚する割ぶがあつたが同館を 長館級を開催し李郡守から時局の 【陰城】郡では去る一、二南耳前

明され、同計能の選行上に ぬつて従来より價格が低下したの ったのと極で背暖部度に鉄路が

権人までが郁悶されたゝめ を占める架が吊脚し之に海州架

成北明川郡下木津洞

狂ふ羅針盤に温帶地の植物

大磁鐵鑛の悪戯か

上の怪」として航海者を悩まして來たかいま、母鍵がある 繋が揺ふ……といふので由來同期的狂は『海 これはまた『地上の怪』として古くから解け【編輯】明川郡舞水端神合を航行すると羅針。一つ同じく田川郡の遊院線に借つた「閑村に

ふので由來同地的近は『海

これはまた『地上の怪』として古くから解け

とか、気は既作師の希黙などなく

【編化】郡では去る四日午返一時

休根中小遺蹟を節封して好めた。で同部帯は北鶴では實に殺しい漢。撃を滅じて衆院追訟のため歳北で、淸州」小學校職員生徒一同は暑。らぬ国川郡下古道、木郡河がそれ。ないといふ號のやらな遺襲地、四 『海上の種』の類水塩から程道か「帶地域で販路でもって上班を下ら、此段だけは保護その他既作動も選 大における指、小部項は左の回り
、 (内括原・管・風・緩紅のなる地球の
、 (内括原・管・風・緩紅のなる地球の
、) 面形 () のでは、 (整染めの衣に包む 烈々たる愛國心 税が事が勢行、【水谷浦】水気浦土地原創修理事権越子代金納入

かつては上海事變の勇士 大ヶ所の彈削を受けた男士だが肌 街頭に銃後の花

献金

投六年生祭昌六君。"』は六年間府一もに邓瀬孝長以下金製蔵が掘合し、那郷に親走してゐる「永旭」 邑内経並殺氏の令息小県一日午後五時歌人取があつたので直」中彫跡戦して急事に

所は獲用事務所能を駆合に利用し 水同防護團 何志數百名を指符して盛大 わて修理中であつたがこ

【水原】小便校の他田校長は促過

の供能あつて萬酸を三型に散した。局では直に水能へ送付し献金の手 9野行し式後神祇に参邦、懶長 支局に県軍財間金として谷郎、支 開九十九銭に遂したので三日本社 所定させたのが種り酸つて五十六 水曜日を見重赤城日と定め、當日 「排営のお菓を前約して一銭づト

升六十銭もするお米

氣の毒な國境奧地の警官へ

概を集めて一個の訓示を異な 報告を職取後、無察署を巡視し、 民有志に接腹、航型守の管内状況 川隅に着、直もに郡既に至り、

び耶殿に到り、耶郷・摩祭の

日動車で食糧を配給の計畫

官民学數外部の下に防膨脹の結成。即九時から公會堂で各個機能及び

結成式舉行

十六國二十銭と陳出して三日本社 一般を中止し他は一同原軍監師金三 第一、二級書間に対する一般の間 後もこれを敷けることになってる 閥をとつた、なほ同校児董等は今 藥水噴出所 同島間では春季同窓 【成異】黄大堂事件以來妹に國境 心はいやが上にも高まつて來た上

一つの怪は地色學院に同かの連一品だかつて個ずべき現地翻覧をし

選せしめる原領込みである 四貫、共阪高は一本三千貫以上に

天他生れつき虚弱な小兒 食あたり、青便下洞胎器 食あたり、青便下洞胎器

三百圓楸金

| 「所献を | 「永同」 柳

であると皺じてゐる、尤もこれは

【水间】那の味質極立枚数は三千

一萬一千貫

永同の秋繭

ハシカ、ホウソウの物 消化不良・胃腸衰弱の時

一般熱の時

の献金を取り去月二十一日から れを第一回分として梨月駐在所 國所既党相を設けて一般から出一個に成五風化すると共に第一線階 水同】歐川都梨月面老が生の薬 を汲むものは他日三百名を下ら 八日までで五風に遠したので 自動車で食糧その他を配信する の自認的資別並が六萬間も集まつ 法を早急に翻ずることになった。 漢的に難儀してゐる弊察官に 斗六国もする米を食 また大津福地帯の温暖に特殊地形とされるであらり てあるため後上では鑑賞数が任じ、 衝家の観査によってこの総は練則 | 山色内球田外盲氏は去る二十二にはれ地下に置大な暗鏡類が任じ | 衛家の観査によってこの総は練則 | 山色内球田外盲氏は去る二十二に

護分團長

班長會議で不穩なる言動

一整国が人間がに國防が人間役員で 開装置は出来ると思ふー、二線に於ける最小温度の助 **想問金品募集**「正華」

から情内脅疑話で瞬間打合物を閉一會を閉開、同學器質を描する

所屬分團でも排撃

き贈内務主任統献の下に左記事項

戦死した

村の演戦で海風の鬼と化した皆三一郷院、宋訓練の鑑氏に白肉子月 ある所能守夫人、甲斐書母犬人、 一不概な首動をなしたといふので目 一時に於ける銃後の団めを強調すべ 陳重取調へ中であるが

|き重性を帯びてみる事とて頂視す 同個題は一個人の不同によるも は既上他に及ぼすことが 中三年度實施部落的創立書書 人名英格兰人姓氏 发情观者或能 医紫枫 人名加兰伊尔约洛尔巴伯顿行人 人名加兰伊尔约洛尔巴伯顿行人 人名英格兰人姓氏 医多种

協州公立書通學校後接所役員會を「攝散府」去る五日午後二時から

日午後一時から學文兄大「三時散倒した

いて各自然心には思を交換し 北常時局に起する

亡會賽合屋樋 家本 ##FE*

府尹主催の下に時局を派費を開催

社師解に所内有恵育保名を指数 【開城】府では四日午後一時か

時局座談會

依然減らぬ

道消費量 **濫費防止の**ため

全需要家に計量器

に搭磨方を開発することになり とあつてその減相を開査し割

廣州郡廳員會議 監察者に取つけ、水の震響防止を設置してゐた態量器を本年中に全 次名昨今な任器中比べてさつばり | 時間に對する自動を促しつ. 凝いず、依然確定水量を超過する | 州神社郡貨體資大寶の豫選を行 【開城】断民の水道消費量は喧風|沃川公曹役邸に聯合大館を明ら

葬儀社の俠氣「永

忠州郡の時

で第二次時局職品講覧開金別始す 柳十三日(邓原华東县)▲周德生界子四日(邓安全系法)▲冠生界子四日(邓安全系法)▲冠 る帝國の新方針を一般に周知欲底 【忠州】時局の態移とこれに對す

三百(全個林)◆老際七日(金杯丁三日(単派遣金玉姓)◆新尼十年(単派遣金玉姓)◆新尼十年) 御字四町

ジネマと照創

取締規度を大要左の通り改正設布

刑事令(()) 四日死去

咸南沿岸にも水揚げ始まる

累計一四萬五千樽

海の異變な

時的現象

見れば樂觀、評觀兩論交々であるは如何ともなし難い沙汰であつて

勝消した認ではなく、萬事が水温

一箇流まかせといふ人賃をもつて

取締規程

忠北で改止

悲観する要はない

しな。 を検討する になか現としたから、 になか現としたから、 になが現としたがら、 になが現としたがら、 はないでは、 にのでは、 にのでいる。 にのでい。 にのでいる。 にのでいる。 にのでいる。 にのでいる。 にのでいる。 にのでい。 にのでい。 にのでい。

金ひせ

胞卵性晶結る 全に品準標際國 せ致

37—592(O)

へて図し

警察官であつた、應石に際して 放三角巡査は陸めて面目な扱砲

五分官民多数の出理へを受けて連島主事を帰同、四日午前元時四十

12---A---15

「適川」甘幽京湾道知耶は田中国

甘蔗知事漣

大川郡聯合

【満州】忠北道の現行理聖香業取「し近く試験を書

聯規程は大正十二年に制定したも

青年團大會

110年田報賣品

遊 關東代理店

鳴、腰部・四 痛、逆上、耳 源、逆上、耳 源、逆上、耳 原、逆上、耳 原、逆上、耳 原、逆上、耳 原、逆上、耳 原、逆上、耳 原、逆上、耳

経商(百單位) (五百製位) (五百製位) (五百製位) 一種(間点) 一種(間点) 一種(同点) 「成性(同点) 「成性(同点) 肢冷感……

さんの學校からわかもと ゐる「掛岡引換券」を皆

本舗教育奉仕係へお送り になればよいのです。 せします。

ります。それを皆様の學 ら二百五十種も出來て居

こんな立派な掛闘がも

校に備へ附けるには、わ かもとの頭の中に入って

病原の閉塞を斷る爲でもある。

すると同時に、直接殺菌、溶菌素を増加して

賦活作用が全身の機能を昂め、抗病力を増大 が、これはわかるとの特色たる細胞原形質 次いて血色の良好、安眠、體重の増加を見る とを授取すれば、まづ食慾の著しい増進、 『紫養剤に非ず わかもとは単なる

抗病力を増大

妻弱病者にわかも 結核その他の慢性 らの榮養吸收率を増すと共に、不足する榮養 り、禁意間収の機能を活潑にし、日常食物か

一州ではなく、潜酵素、ホルモン、ピタ ミン、アミノ酸、無機物等の綜合作用によ

素を補給する、綜合微生物劑である。

活潑なる體重増加 省しき食慾の増進と、 (FE)

帰因・常習便秘 ト痢と便秘は同

冒酸過多症は 瀬に共通の療法 胃壁の組織細胞の

門アトニー<u>症</u>は 胃筋が衰弱地 火元を消す生物築である。 を興へ、胃液の分泌機能を調整して、火事の ある。此に反しわかもとは、衰弱細胞に活力 元を放置し、煙だけを消して居る様なもので 症であつて、従來の樣な重重療法は火事の火 異常から來る、病

> する細胞賦活業である。 無力狀態から脱せしめ、根本から胃組織を强化 るに反しわかめとは胃の組織を強め、自力で が、單に胃を保護しその働きを補助するのみな に協ったものである。従来の常化善や健胃剤

禁意の吸收、糞便の排泄が調整され、常營便秘 便秘及下痢は いづれる際質を記載す 質賦活作用は爆管の若返り現象を起させるので ら來てゐるが、わかもとの特長とする網胞原形 る細胞の衰弱、異常か

老衰現象も豫防される。

なつて、異常醱酵、自家中毒また

や慢性下痢が輕快し、脇内の自滞作用が活泼に

乳兒死亡激減 乳兒の不健

病院に於て齊しく推奨される所である。 **本電液を増加する作用が匠盛て、權威ある大** 惡性貧血口著効 して、在外の單一成分の造脈が、業産剤と異 わかもとはよく道面及能を鼓舞し、新鮮 性の貧血に對 産後に多い悪

康は殆ど哺

庭後の貧血恢復と

学の により、 ける 特に当見死亡の最大原因たる消化不良を防止 保難後者に有郷な諸県がを総合的に含有し、 の不言語から来る、わかもとはピタミ 果にすぐれてゐる故に、本劑の普及 合體の生物界院一なるを始め、乳見の が期待されてゐる。 世界的高等にある投酵の平幼兒死亡

止。發育の助長 幼兒の消化不良の防

和織を重観にして、病薬、当する低坑力を確の消化管を強め、業養の吸收を促進し、體 め、健全なる愛音を遂げしめる。 行料に 體質を強化 わかもとを添かすれば、よく乳兒 全の乳児の哺 虚弱、發育不

力を補給し、疲勞を恢 頭腦に榮養を與くれ 能率を増進する

頭腦の明快 胞中に鬱粒する疲勞物 頭腦の明快には、『細

機骸、ピタミン等の諸成分の綜合作用によ 必要であるが、わかもとはレシチン、無機 を訓給し、頭腦組織を常に新鮮に保つことが 質を分解排除する一方、特力療となる業産素

しめるのである。

を愛揮することを得せ

疲勞を輕減 て、常に頭腦を明快に保たしめる。 り、疲勢の恢復と新椿力の補給をは常にし

少くして、最高の能率 ともとによって、精神及び肉體は最も疲労 の緩和は、疲労度の軽減を意味する。即ちわ 肉體のエネルギー持續を意味し、 血球が降 用が腳著であるが、血馬の廊量は、精神及び 持すると同時に、所 以沈降速度を緩和する作 の糖分を常に適量に保 わかもとは、 血液中

廉低價辨

錢十五圓四•瓦十七百二米秒 **錢拾六圓**壹 瓦〇九末第 五•入翁子-織 第○○七一京東南區 全の紀育と未栄誦本ともかわた ☆原本

とついいてあると感じよは悪情的治さ、我様は翼を左右に、すを飲いてあるのが白くずる。 敵の一人一人の骸骸が祟く野々にすをすいてあるのが白くずる。 敵の一人一人の骸骸が祟く野々

に、カンテラ』『ア、ン、ベ、ラ、だ、よ』『うん、うん、さらか』 爆転が出來るぞと思ふところへ小崎の職長が天驚に『陳方は山田に

,ンベラを敷いてある。と

単んでくれるがど

でも聞きとれぬ、

ないないピッショリ酒れた軍

ようと、何の未練も恐怖的な

そ異度に戻ぐましくなか

んで默つてしまつた、それ以 線攻翼に遭つて日頃駅と言は

一班長段、自分は第一線へ出

周閣に推がる狂恩な大敵が居 勝場で寫す即士が存取するの

ありまずし

縁に出して下さい、お願ひで

「班技蔵、助けると思って明

限からが気が拠々と限つて來

ッに添へて 言さぞや暑いだら の慰問品の袋には薄い質シャ 9、二級にやつと眠いた僅か

と夜とは大蛟な鱧り方だ

実へなるなるながら、Oから 低ばかりなんだらう。Oから

全く前四と、頭雨で、脚からこ ナアーと民味さんの一人が避

> つけてやりたいであります たいであります、この宇宙の

をドカーンと敵のド頭に打つ

線が設々近づいて來たぞり 來、班長は自分から先に

『おいッ、〇〇一寧兵、第一

秋の縁配に責ばんだ高粱を東 肝板ではこの瞬間はどうにも

やうやく近づいて來た

わた即吸の歴報とアンペラの

過した。何とかして卒場に参加したい

態度か穏耐したが許され

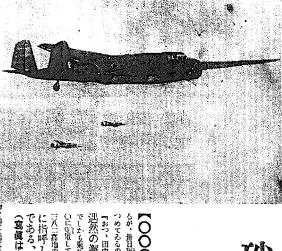
見られは整備した〇〇飛行場の長点に蚤の狂魔を受けて既に数日を

飛行家の一人として明備、無識本軍に従而したがまだ一回の同衆も

○腐行塩を根拠地とした特鋭○○○○と共に日本でも

硝煙弾雨の戦線で しや學友に邂逅 彼は空の從軍勇士

○に信用して敷度か等の身里の熊聯よりを目のあたりに見て來たが○○部職技能初の山底地で鄭が部壘に振騰した乾里新方面でしたも果命で養房地行隊の特定を規則、實現に努力した肚き飛行家である、民間棚と氣用棚の賢勝と飛線跳移の 三八三音地の機能は、勇敢にも機上の人となつて、地上の我が砲兵、歩兵の奪職よりを限下 過然の邂逅なのである、たつた一本のビールで乾杯した、學館中不一種は田中郡行戦所長 【○○○にて藤井特派員發展の知などありからことはの以外に改明はなかくに歌まれぬかであ 『おつ、田中が』しつかと城寺したま、緑郷熊祖の農分を遵こした。十四年よりり、學念を出て以來初めてのつめてゐるのを感じた。突然『おい鱗洋君』候だよ、明治に居た田中だよ』と驚をかけて来た。默はず余らびつくり立ち上つて、 oが、卅日夜余は石田部構製と職品語をつづけてめた〇〇部験語標地の前壁に、「經接鏡電点士が立ち止つてジッとこもらを見



(裏眞は快粉するわが〇〇機)

果敢な爆撃に敵陣木ッ端微塵

最前線000にて 田中不二雄手記 は一千米の上空でダーンと競をゆさぶつて下陸の姿勢をとると見る

まに、射撃争は引金の指に力をこめて引いた、優弱は機を離れて、

が逃げまざつて岩穴に強のやうに這ひ込む、が逃げまざつて岩穴に強のやうに這ひ込む、く吹き飛ばされる、敵陣地から右往左往敵兵に爆弾を投下した、敵兵が黑煙と共に中天高に爆弾を投下する。 のよっき はいの 一機からはつづけ 標準変を なにらた、見いのよいの一機からはつづけ 標準変を なにられて、見いのとのではのできない。 概念されたのだ。解いて我概は批解量まりない解析地質の確然をありう。あもらこもらに厭煙が着ひ上で、解析地の後方は愛い恋にありう。あもらこもらに厭煙が着ひ上で、解析地の後方は愛いないという。 いっぱい おんじ おんで 蜘蛛の子の やう に四方に パーツ敵兵が まるで蜘蛛の子の やうに四方にパーツ らう、近黑い煙があがり、家屋がパツと飛散する世族な体製の音を唱えないが、ドドーン、ドーンを作品をだいたのだいを描いて直下してゆく、「頭、二頭、プロペラの音響に眉まれて一切を描いて直下してゆく、「頭、 へ、地下のが爪に向つて爆撃開始を合同するた

れぬ空の從軍を本當に許可されたのだ、「是軍自分こそ從軍者として最初のいや最後かも知

「言言相報を許された。現はず萬歳だ、雖り上つた、自分の額のにようん、さうか、愛つて現たいか、よかららしたつた

様するや舌や○○○○長に前途轍をする、○○長もあまりに触ゆなめるが、これこそ心臓ものだ、疑ぶつつかつてやれど、廿七月類起ぬ、蒸入でない目分には除膿のない流行機であるとは充分わかつてぬ、

許されたらしい、飛ぶやらに自己の所へ来て、当おい、ひどいぞ、 ひに朝日の当者が尚ぎしり暇んで交もや盟師してゐたが、どうやら

天晴れ娘探偵

裝ふて店の人を信用させ三百四十 命に特米所に電話で『粉二百五十

日搬ふからと言葉的に持ち田し六 日朝京晩殿に踊りたところを西大 四回のミシン一部を求め代金は明 **省く演りたいが』と概を買う風を**

花園町公設市場で眼を光らせ

る、一回、二回庭回し急陛下して帰婦は投下される

に言い思つてゐた、ところがこの

「はならないと常に安心するやら | 走、 | 万秋は諸郷したが父の死は | 京。『道筋機郷松淵面丸山里南英道。

始與生れ住所不定前科一獀對先買

ミシン詐欺

- は五日夜仁川龍岡町二七シン

ミシン仁川分階に到り即町朱

展赤な場、元氣で暮してゐるので一氏の土地を何時の間にか詐取し買

て得りで特殊等!) - 195

税人に同情しながら融つた(脳群

服するやうになった 一数に『お師のお父さんが死んだ』 新巻に別田た、一寸旗を使ひさん際に降軍衛生。 写具として軍物に「戦」取方に観いてある義身の我善が仕組んだ怨の芝居一幕と戦り本権十二月後に心を発し犯山陸軍場「歌が」では領域著章町七四長谷川「て来っとこの劫形、初めて義兄や「総定に甲配で合献した第一私は同「京池道坡州都泉観回法院臣五六や「小たがら老人後谷川地の下に続っ」

支、て來たところ昨年五月の徴兵 (二)の一家五人の生酒を跳しくも子さん(**)明子さん(**)明子さん(**) になり少年の身でそれでも一月四

巧みに

義弟の雇主を騙る

にせ手紙でまんまと九十圓

五回の収入で歯床のル親と妹清

なったゝめ勝一君は日間労一者

さしもに使まじい威力を競弾した卒爆は一般務を告げ次の〇階機に 八月十七日に姉妹の涙でましい程|孤につきょれたやうに不思誠に思| 宇を勢出してみたことも物明した

胸のすくやうな見事な基軍機の爆撃よりであー壯な爆撃を終つて〇〇飛行場に無事着陸したが逃げまざつて岩穴に蟹のやうに這ひ込む、「蘇を開始してあるではないが、正時世界一時間に亘る凄く吹き飛ばされる、敵陣地から右往左往敵兵」でする事になった。よりどもは小鷲の際は四くを破ちと腹に爆弾を投下した、敵兵が黑煙と共に中天高」での際は私警察の武武が高りつつ勝れを除げて際陣地を離れて動

参加に胸は處女の如く雖る、中間影響が蘇門した事のある自分ではあるが、初めての實職した事のある自分ではあるが、初めての實職に必用終一篇の問題が、幾度かの飛行で墜落負傷

軍権、軍戦、年後四時廿六分〇〇を出襲して三八二高地の酸陣地と

の特鋭機は〇階長小郎中間で自分は〇階長と共に同乗した

猛烈な簡優が、タと止んだ、

ハチ切れさうな憂鬱

位あつてよい、誰か笑ひの撮影の世界だ、笑ひのひと時

やりたいが、第一線ばかりに

語でも恐つてくれないも

くなるぞ、お前辺の今の仕事

織ちゃないかり

で取りとめのないのもなられ

一月は暮れて肌炎し新職塩

思ふ宿分喰へるなら何でもあはずとも、第一杯の酸の弾を

押めない。敷操には前が開ま るし、一線の兵士は疑る家も りついく、もう十日も斉なが と……陰間な雨が秋日々々 〇〇歳は既に出動術商を整へた。この日帰館の低に靠る第一

中国部隊長から命令

分はパラシュートを背負って爆闘器射ボタンのある上方を獲み身を

くつと前方に伸ばして地上を見る、顔士張りの機の前部から繪のや こしく鮮やかな操縦ぶりでふわり難墜した、飛行服に身を固めた自

空に飛來した、高度は一千米、機の調子は申し分ない、思上在分 、に競塩が浮び出て来た、忽もに微は編纂のまる敵跡地役方東近水 ば戦闘機もない様子である、サッと手を撃げた場合によつて爆音勇大侠は申し分なく往復甘分內外の記載である、敵に高射向もなけれ

に見下ろし手に汗握つて眺めた、圧弾さる気は、これのはず機上から身體を乗り出さんばかりさに心はず機上から身體を乗り出さんばかりが地がら続射を浴びやかける表際長の正常な射戦像りの見事事の反復は三八二音地に水脈な突戦を開着した、後方や里の呼乗車での反復は三八二音地に水脈な突戦を開着した。後方や里の呼乗 代粉を纏いねばないない、ゆるやかに旋回する機上から見下ろすと 燃配機は小森大尉○院長の○○○○機と前間野長及井内佐長操経の 酸陣地を限して突駆をついけてゐる、我懷醒の使命は正に終つたの た、はるか、皮方から〇糟糊除の作機がぐんし、上近づいて來し、次の



||適石々お江戸のお願さんをお添ね|| 公政市場で買い物をしてある際に 中のスリの名人をあのやさし お尋ね中の ス リを捕ふ

同様学段でル回に到って九百四点

雅卓が揃へた、取調べの結果

添取したことを自供した

寫眞ニュ

六日午後、一時ごろ京城大利町 事も兜を脱いだといる捕物関語し 手で縮へくお照さん深低くに張淑 き取り素別られ聞で人能なにまぎ ノ見てるた市場で花野園を祭む鈴木 い繊 エプロンのボケットかし高りを致 ことで対して、一寸おいていと怪妙年の殿、明年中中情報を政権では時間では、たべ、一寸おいていと怪妙年の殿、明年中中情報を政権では時間では、 れ込まうとする怪少年をジュワと 中の鼠域革備町二六七艦混然(7人) 宛て月二回(三枚)を配布してる。 た、怪少年はスリの名人でお事ね。長至全郎二千四百億の面部務所にた、怪少年はスリの名人でお事ね。長至全郎二千四百億の面部務所に 程代さんは原虹、質の出しの奥さっか、その成績がよく各遺より増

大地圏を射象として振付した、時れない、瞬も時キングは全支部へ、ない、時も時キングは全支部へ、ないのは、大地戦は発い 戰局愈~擴大 礼。ること、なった 増しその場所も三千ヶ所に搬職す

加方の要望があるので委員間では

るのを耳にしてお祭っまい知楽器(高しんでゐるのを家人が顔現手供りが出侵、毎日のやうに被索があ、年前二時ごろカルモチンを飲んで、「「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」 をかけるのを耳にしてお客さまに即迷惑 を抱きこの日も後をつけてゐた 日市風に姿を現了館の撃動に不安 ん、女中さんで混み合ふ市場にス に適したいないいながである く今まで獨身生活を激つてゐたが六歳の時肋壁で構んで以來雖が鍵 ので五年前にも一度自殺を企び あまりの靴しさに自殺を全てたま の結果生命は取止めた、金君は十 青年自殺を固る

な代さんはお江戸下谷の南もで兄 ころであつた、クお願さん機能・

盛り、一時頃れ(きの けふの天氣

配給を擴大









よくて康く

高尙な色調

東京南品川三丁目 東京東品川五丁目 台所 辛天改盛即り 関語 44 0285 ● 1040 参 高報 44 0021 番 電話点輪(44)1080 番 南州配給所 電話意天6667審 配 話

り二丁歳。道く自動車の二丁歳。道く自動車である三丁歳。道く自動車の三丁歳。道く自動車の三丁歳。道く自動車の三丁度の一下である。

京城府坦尚 二丁门 Ш

タイ ビスト (高純な学園) 中国 チャッカー (高純な学園) 中国 チャッカー (高純な学園) 中国 チャッキュー (高純など) 中国 チャッキュー (高純など) 中国 チャッキュー (高純など) 中国 チャッキュー (高純な学園) 中国 (高純など) (高

影棄内

接した、自分は既然觀點をとなっ成として、自分は既然にの後三八二高地を我軍が占領したとの快報にであった。はるかに健康の問題する音響が聞いてる、一時間除であった。はるかに健康の問題する音響が聞いてる、一時間除 と問題のため田麓するとのは、自分は呼び劇魔が果を買地に減分するため、卅一日早期入時、折轄の雨を買して第一線の三八二高地に上り、小林高院とと問題のため、田一日早日には分するため、田一日早日に、自分は呼び劇魔が果を買地に減分するため、田一日早日には、「日本」との「大・米の「大・米の」という。 下型に困難へて「動苦等、飼苦等」を浴せてくる、やがて小鱗の脈、文……作の光も知らないで一中類、兄妹の彩しい車吶喊話を開いて悪歓、一一致の敵(理)すら受けてゐない、○○○○○以 ひそかに難愛を出した ることを動うた、この石湖一等に殺した戦もなく難は我們に針裂した機構もなく○機共会完全無一てはならねと母の死を聞く破して、心道しに一般得國のために奉入子級した戦もなく難は我們に針裂した機構もなく○機共会完全無一てはならねと母の死を聞く破して、心道しに一般得國のために奉入子級に 胼胝化した後の街に耐災が横行し。して担っついたと思ふと大通り 暗闇に踊る痴漢

勇士と妹

母の死を秘して

一意報國の兄を激勵

微層的打魔を興へ、さらに三人二帝地の敵跡地を機勝、光分目一ば人の利用を挟むしつしましょう。「はし、丁立りば死死し怒としなが水部落を機骸火網を以て完全に破ひ、内部の人馬車輪に對し」は一等点に軽減してゐたが、偶々 しは石沼・等兵を力強く激動する

長によって勤された報告は

がり亡い他に合葬し即類な妖造の一行った もこの事情を知らされ族に明びな、そしい姉妹の恩話と一場の訓練を

命に軍務に購入であた石融勝一代常な感激にうたれた宇野陸軍構能 **友人の武田鏖君によつてはしなく** と歩に、同心の発駆戦を集めて雄 ることを整つた、この石岡一等兵

層御國のために奉公す

57.75

各眼科病院處方眼鏡責任調製

美國各近私立服科伽北定

京城帝國大學御用

またも女給襲はる

光學的 建金 品牌器庫 3 直 指 3

大學堂眼鏡店

にも曾へずに亡くなつてしまった。「女船金変波さんごごが気速の事」「病も空しく健觀だつさんは勝一仏。 京坂館洞町一九六ノ四白馬カフェ の抵抗、またも六日午前三時ごろ「新で扱人揺む中」「自教派不良の路梁に備へ改重発制」遠は略に夢を曝ました。且下鎮路 内各製紙に防御散成は相關力ごれ、ので附近の人々がかけつける主怪館女子の外出に赤信凱を掲げる近、かまは四畑遺版りに悲鳴をあげた

養鷄及家畜飼料(鹽鹽)

緊急 澤浦精米所飼料部

公服爾、双眼體

カタログ設備(欧三雄)

级替底城一一二九番 電話本局(2)1三三七五番 京城府本町二丁目

共産郷たつさんが3年前か・[編末] らせて大事な奈公の決心を纏いせ から浴衣がけの怪魂二名が渡ひ出 原内に家属不和らしいか細い女手一つに称てられたが、 揺蛇が緩の折も折とて兄さんに知 町二丁月附近に発揮ると突如喉音 保から滅江に身投げ自殺を発げたか細い女手一つに称てられたが、 揺蛇が緩の折も折とて兄さんに知 町二丁月附近に発揮ると突如喉音 保頂(元)に所内本前関ル番地先江を渡りて以来能郷たつさんが3年前か・[編末] らせて大事な奈公の決心を纏いせ から浴衣がけの怪魂二名が渡ひ出 原内に家属不和らしい 共産郷たつさんが3年前か・[編末] らせて大事な奈公の決心を纏いせ から浴衣がけの怪魂二名が渡ひ出 原内に家属不和らしい 共産郷 (大下) 五年父親 (にも仰へずに亡くなつてしまつた) 一文経念免疫さんごごが放電の楽 人 下身 投げ - 五日午後九

でするもの少年が怪しいと明から思っても大便でせる。でもある間 から思っても大便でせる。でもある間 から思ってるたの、でもある間 でも異けずに密視してみた。 あるところ タ カ Ø

川 仁 場造釀油醬杉高

花柳病專門

A DE CHARLES 中国国际内

新型の では、 一月八十分 では、 一月 では、

世紀宝田佐店

岡

大東 記 解認語樂科生 月葡學知解於太平地大廈門 (公丘學校構內) 京城盟 (公丘學校構內) 京城盟 (公丘學校構內) 京城盟 (公丘學校構內) 京城盟 (公丘學校構內) 京城盟 (公丘學校構內) 京城盟 (公丘學校構內) 京城盟

店員募集 「 Reference of the company of the company

場下的級で、手



_